

J A いしかり

2017

12月号

Vol.345



4P-6P

特別企画第二弾!!

スペシャル対談—後編—

J A 北海道中央会
飛田稔章会長

×

J A いしかり
中村武史代表理事組合長

10P

—新規就農者紹介—

ささき たかじ
高岡地区 佐々木 敬仁さん

特別企画

特集

石狩市農業協同組合青年部設立30周年記念式典



J A いしかり青年部 設立30周年記念式典開催

11月14日、石狩市農業協同組合青年部設立30周年記念式典が開催されました。

午後3時より青年部員やその家族を対象とした研修会をJAいしかり本店にて行い、JA北海道中央会人づくりセンター小岡広幸次長をお招きし、JAの仕組みやこれまでの歴史、青年部に関してなどをお話いただきました。参加した部員は小岡次長のユーモアあふれる講演に笑顔がこぼれつつも、興味深く耳を傾けていました。

研修会終了後には、シャトレレーザガトーキングダム札幌に場所を移し、来賓、青年部OB、現役青年部員の総勢52名が出席のもと式典並びに祝賀会が盛大に開催されました。

青年部の藤岡裕寿副部長・熊倉聡副部長の進行のもと、始めにJA青年組織綱領の朗唱を行い、山内克彦部長の開会挨拶が行われ式典が始まりました。

その後、当JA中村武史代表理事組合長、石狩地区農協青年部連絡協議会竹村清一会長、当JA女性部川崎寿子部長より祝辞を頂きました。

また、青年部に多大な貢献をいただいている平成10年度以降の歴代部長11名の方々に、感謝状の授与が行われました。感謝状を授与された方を代表して第7代部長千歩武智さんから「これからの石狩市の農業を背負う若き力の更なる飛躍に期待していきたい。」と激励の言葉をいただきました。

その後の祝賀会では余興として、平成25年より取り組んでいる1分間CMの歴代分全てのDVDのお披露目や、11月5日に放送されたJAグループ北海道提供のテレビ番組「あぐり王国北海道NEXT」（HBC放送）での青年部サツマイモ栽培事業などを放映し、動画や食事を楽しみつつ歓談しながら盛況の内に閉会となりました。

▼式典開会にあたり挨拶をする山内克彦部長



▼研修会で講演に聴き入る参加者



▼感謝状を受け取った歴代青年部長の皆さん



今回は10・11月合併号前編の続き、
対談後編をご紹介します。

スペシャル対談 一後編

J A北海道中央会
飛田 稔章 会長

J Aいしかり
中村 武史 代表理事組合長

中村組合長

本日は、飛田会長に是非うちの漬け物をご試食頂きたく、「いしかり漬け」をお持ちしました。地物市場「とれのさと」で販売しているのですが、非常に人気で生産が追い付かないくらいです。

飛田会長

国は6次化なんて言っています、少し前の農工商連携で、道内で一番いい例が馬鈴薯を加工して湖池屋に供給している富良野農協ではないでしょうか。北海道の農協は、生産したものをどう売っていくか、あるいは原料供給体制をどうするか、これからどうやって道内経済を底上げしながら農協経営していくかだと思います。石狩市農協さんのように自ら漬物を作ったり、あるいは馬鈴薯であればチップにしたり、色々なやり方がありますので、企業と色々相談しながら自前で付加価値をつける必要があると思います。農協自らがやれる所はしっかり取り組んで行けばいい。野菜から何か



ら全て市場へ出荷し、その中で様々な市場の関係者と付き合いながら、徐々に付加価値を生む体制に作り上げていく事が大事なのかなと思います。

中村組合長

北海道は原料供給基地としては全国トップ産地の自負があります。最近個々の農家が農畜産物に付加価値を付けて販売する事で利益をあげている事例を見聞きしますと、農協自らも原料に付加価値を付けて積極的に販路を求め、その利益を組合員に還元するということを取り組んでいく必要があると思います。

飛田会長

世界では特にアジアから見れば、『北海道』というだけでブランドなのに、北海道はなぜもっと農産物を輸出しないのかと言われることがあります。しかし我々は、まず第一に国民の皆様に食べて頂くということを基本に作物を作っています。

例えば、牛乳は現在生産が足りない状況ですが、余ってきたら廃棄処分しなければならなくなります。日本国内で余るものについては国外へ出さない限り廃棄せざるを得ないというのが現実で、こんなに勿体ない話はないと思いません。幕別町農協や帯広市川西農協は、日本では規格外品になつてしまう長芋を海外に輸出しています

が、台湾ではパウダーにしてそれを薬として活用しているの、ある程度の金額で買ってくれていますが。3L、4Lという大きな規格は、味は変わらないのに太いというだけで製品

として認めてもらえないのでやむを得ずそういった方法をとっています。

余ったものを海外へ輸出して製品として活用して頂くのは大事ですが、そういう理由が何もないのに輸出を優先させるといふ事について私は賛成出来ません。

飛田稔章

(とびたとしあき)

1947年生まれ。
北海道立帯広農業高等学校卒業。幕別町農業協同組合組合長理事。
現在、北海道農業協同組合中央会会長。



中村組合長

同感です。私たち農家が望んでいることは、まず自国の自給率を上げることが先で、それも出来ないのになぜ海外に農産物を輸出するのか、飛田会長のところのよう

飛田会長

に規格外品、あるいは需給調整のため等の理由が無い限り一種のパフォーマンスにしか思えません。
漬け物一つ作るにも必ず人の手が必要で、北海道で労働力を確保するという事にもなります。本州へ原料を運んで作る事も出来ませんが、それでは本州に経済全部を委ねるといふことになってしまいます。道内で経済をしっかりと前向きに進めるといふ事は、基幹産業である農業が付加価値を高める仕事をするということが基本であり、恐らくあまり遠くない将来、農協も企業とタイアップして積極的に経済活動を行うことが、道内の雇用を高めていくことに繋がると思っています。ただ残念ながら、今は雇

中村組合長

用したくても人が少なく大変です。すよね。
札幌市に隣接している当農協でも人集めには大変苦労していま

す。農家のパートについては農協が20年程前から募集と紹介をしています。現在300名程が登録していますが、それでも足りなくて中国から研修生に来てもらっている組合員さんもおられます。

飛田会長

私の農協では別会社を作つて委託しています。馬鈴薯や大根・人参・ゴボウなど野菜が主なため、どうしても人の手で撰別しなければならぬ作業が多くなり、最盛期には最高400名程が必要になります。別会社を作つて人を集めるので経費は掛かりますが、農協が人を集めるとなると本当に大変です。すよね。

中村組合長

今回は当農協の組合員に飛田会長の生の声を伝えたいと思ひ企画させて頂きました。特に青年部・女性部の皆さんには飛田会長のお話を読んで頂き、励みになつてもう読めばと思ひます。

飛田会長

青年部・女性部に対して、次を担う人達に期待をするという事はどの組織にも共通していますが至

極当然のことであり、そうしていかなければ農協運営も組合員の経営も成り立ちません。

今の若者が物事を考えたり判断する時の情報量は非常に多く、コンピュータもスマホも瞬時に情報がつかめるので、農協職員と連携しながらその情報を農協事業に活かす事が出来ます。農協職員もしっかり習得して農政問題等も含めて組合員に正確な情報をお伝えしながら、お互い信頼を築き上げていくということが大事で、情報をいかに早く且つ正確に集めることが出来るかが今後の農業経営の大きな柱の一つになっていくだろうと思っています。農業は自然が相手とはいえ、情報を利用するところは徹底して利用していかなければ



ればなりません。家畜も畑も水田も野菜も全て、情報をどう拾い集めるかという時代に入っています。

中村組合長

今は農業も本当に情報化社会でIT化が進み、私共もGPSなど色々と研究しているところです。組合員からも要望は上がってきていますが、やはり若い方々には非取り組んでもらいたいと思っています。

飛田会長

先駆的な農業のやり方というのは、決して遅れてはダメですね。進み過ぎても経費が掛かってしまいますが、その時代に合った農業の方法をしっかりとやらないと。

例えばその農地をどうやって肥沃な土地にするのか、これすらも情報が占める割合は大変大きく、その情報を大いに活用したいですね。電話も何もない大昔は、何かあれば必ず隣や農協に相談に行きました。今ではどこにいても情報が瞬時にわかります。こんなに素晴らしいことはないですね。反面、情報技術が発達して一番困るのは、意思の疎通が出来なくなったことですね。直接会って話



れぞれが経営者ですので、どのような形であれ情報に遅れないようにするというのは不可欠だと思います。

飛田会長

やはり大事なことは、目と目を見ながら話をする事です。これだけ情報が進んでくると、ともすればそのことが置き去りになる時があります。この基本的なことが見直され、問題となり議論される日がまた来るだろうと思っています。

私自身も十勝から出てきていますが、全道皆農協の同じ組合員です。組合員だからこそしっかりと、皆さんと一緒に思いを一つにして農業者を守っていくという大きな仕事と共に頑張っていく必要があります。今後ともどうぞよろしくお願い致します。お忙しい中お越し頂きましてありがとうございます。

中村組合長

大変有意義なお話をお聞かせ頂き、とても勉強になりました。これを励みにまた頑張らせて頂きますので、こちらこそよろしくお願ひ致します。

お忙しい中、本当にありがとうございました。

日本の未来は女性にかかっている!! 全道女性リーダーが集結 想いを高く仲間と学ぶ



11月9日～10日、札幌パークホテルで平成29年度JA北海道女性リーダー研修会・北海道家の光大会が開催されました。当JA女性部からの参加者8名を含む550名のJA女性部員が全道から集結し親睦を深めました。

1日目は、『TPP後の日本農業と食の安全』これからの女性組織の役割』の演題で講師の東京大学教授鈴木宜宏氏が「日本の未来を救えるか否かは女性にかかっている。女性の底力に期待したい。」と話されました。また、家の光記事活用体験発表では、家の光の記事を参考にした新たな取り組みと地域活動や仲間づくりについて道内6地区から発表がありました。



目を集めていました。

当日JA女性部からは小野寺キミ子氏が作製した「毛糸のオシャレ小物」と小池千里氏が作製した「鶏の小物入れ」を展示し、おしゃれなデザインから共に注目を集めていました。

2日目の手作り工夫展示会では、全道の部員が持ち寄った手作りの加工品や手芸品などを多数展示した中で対話形式により作製者との意見交換を楽しみました。



十勝方面に足をのばして行ってきました～ 毎年の楽しみ☆資産運用部会視察研修



10月16～17日、資産運用部会が視察研修会を行い、21名の会員が参加しました。

初日は、大和ハウス施工による札幌市清田区の賃貸物件を視察し、メーカー担当者から説明を頂いた後、内覧となり会員も興味深く見学していました。

その後、帯広方面へ向かい、よつ葉乳業十勝基幹工場と帯広競馬場を見学し、宿泊先の十勝川温泉第一ホテルで温泉に浸かり美味しい料理とお酒で日頃の疲れを癒やし、楽しい時間を過ごしました。

2日目は、花畑牧場と真鍋庭園を見学し、六花亭本店やJAめむろ「愛菜屋」に立ち寄り沢山のお土産を手に帰路につきました。帰り道は若干雨に降られましたが概ね天候に恵まれた行程となりました。

消費者も支持!! JAいしかり「ゆめぴりか」☆金賞受賞



11月8日、石狩地区高級ブランド米創出協議会主催の第3回石狩地区「ゆめぴりか」コンテストにおいてJAいしかりが金賞に選ばれました。

石狩地区の審査は、生産者などの専門家だけではなく、一般消費者もそれぞれ試食して投票するのが特徴です。コンテストに出品したのは、他にJA北いしかり・JA新しのつ・JA道央で、当日は主催団体や石狩地区農協青年部連絡協議会のメンバーなど約70人が参加し、産地を伏せた米を試食して評価しました。また、事前に北広島市の『ホクレンくるるの杜』で道内外の消費者から337票の投票があり、それらを合わせ、接戦の末に当JAが全道コンテストへの切符を手に入れました。

昨年の大不況から一転、 大盛況の漬物野菜即売会 大球はまだまだ売れそうですよ。



10月28日～11月5日、地物市場とれのさにて漬物野菜即売会を開催しました。漬物の材料となる大根、白菜、キャベツなどの野菜を需要期に合わせて大量販売するイベントとして毎年恒例となっています。

今年は、大根、白菜、キャベツ、大球、土付き人参、土付き長ネギの販売を行いました。大球については作付面積が減っていて需要に対して出荷数が少なく、求める声が多く聞かれました。

昨年は、近年まれにみる異常気象で複数の台風襲来の影響により全道的に漬物野菜が不足する事態となりましたが、今年は人気の大根も豊作で、期間中の来客数は約8,200人、売上額は1,400万円を超え、多くのお客様に大変満足いただきました。

今年の週末イベント売上最高額を記録 全国でファンが待っている長イモ・ゴボウ即売会

11月11日～12日、地物市場とれのさにて長イモ・ゴボウ即売会を開催しました。これは、毎年11月に人気を集める長イモ箱売りとゴボウ袋売りを2日間に渡って生産者が大量出荷して販売を行うものですが、初日はあいにくの暴風雨に見舞われた中での開催となったにも関わらず、待ちわびた多くのファンが開店1時間前から行列を作る盛況ぶりとなりました。自宅用はもちろんギフト発注の需要が高く、多くのお客様が全国各地で楽しみにしている家族、お世話になっている方々へ地方発送していました。

2日間の来客数は合計2,134人、売上額約530万円となり、今年行った週末イベントの中でも最高額となりました。

長イモの出荷者が年々減少している中、付けしている会員の皆様が沢山の出荷をしていただき、このようにお客様様の期待に応えることができました。これからも地域に愛される地物市場で有り続けるよう皆さんのお力添えをお願いいたします。



農業女子プロデュース こだわりの石狩産スイートポテト あっという間に完売☆サツマイモブーム到来か?!



11月5日、JAいしかり農業女子プロデュースのスイートポテト販売を開始しました。近年、石狩でも作付が増えているサツマイモをPRする為に、波多野夢子さんと佐々菜奈美さん、とれのさとスタッフの井上囑託職員が中心となって、石狩産サツマイモを使用したスイートポテトをレシピから考え、包装、形にもこだわり今年1月から幾度となく打ち合わせを重ね作りあげました。前日放送のJAグループ北海道提供のテレビ番組『あぐり王国北海道NEXT』（HBC放送）にて紹介された他、北海道新聞でも取り上げられ非常に期待される中での発売となりました。当日は、波多野さんと佐々さんが売り場に立ち、とれのさと限定販売ということもあり人気が集まり、58箱用意した商品（1箱5個入り、税込850円）がわずか30分弱で完売しました。又、同日、当JA青年部がサツマイモ対面販売を行って来店客の注目を集めており、石狩産サツマイモブームがいよいよ盛り上がりつつあります。手作りのため大量生産は難しいですが、今後も農作業の合間に製造販売を行う予定です。

石狩産サツマイモ☆七変化☆ 青年部員がPR 甘くて美味しいと大好評!



11月5日、地物市場とれのさとにて当JA青年部がサツマイモ対面販売を行いました。これは、石狩で何か新たな作物に挑戦できないかと平成23年度より取り組みを開始したもので、栽培試験等を繰り返した後に対面販売や加工品作製にチャレンジしています。今回のサツマイモも今年6月から青年部員が圃場で育て収穫したものです。

9時半の開店と同時に対面販売をスタートしましたが、販売前日にJAグループ北海道提供のテレビ番組『あぐり王国北海道NEXT』（HBC放送）にて取り上げられた効果もあってか予想を超える大盛況となりました。農業女子プロデュースのスイートポテト発売との相乗効果もあり、サツマイモの陳列が間に合わないほどの人気ぶりで忙しくも嬉しい時間となりました。

また、サツマイモは生の状態の販売だけでなくホカホカの焼き芋にしたり、併せて昨年作製した芋焼酎「芋男氣」の販売なども行いました。多くのお客様に興味を持っていただき「石狩産の焼き芋が甘くておいしい。」「テレビを見てこの焼酎を飲みたくなった。」などの声が聞かれました。石狩産サツマイモのPRがしつかりとできて大変好評なうちに終了となりました。

子ども達に伝えたい! 石狩の美味しさ 『子ども食堂』へ石狩産「新米」を!



10月25日、花川南地区の子ども食堂「ちるマルシェ、術アット」にて、石狩市「子ども食堂」へJAいしかりから新米の贈呈を行いました。

「子ども食堂」とは、石狩市による市民協働の取り組み「子ども居場所づくり推進事業」とし市内5団体が行っているもので、今年度からJAいしかりでも事業協力として「地物市場とれのさと」にて直売所出荷者協議会生産者のご協力のもと食材提供による応援を行っています。今回は、地場産の新米を子ども達に味わってもらおうと石狩産「きたくりん」1俵を中村武史代表理事組合長より取り組み団体に手渡しました。

JAいしかりは、「子ども食堂」の取り組みを通じて地場産農産物への理解を深め、美味しさを伝えるとともに、石狩の子ども達が元気な育ってもらいたいと願っています。

1月号からの!

i C O S

新企画の

新規就農3年目を迎える遊佐宏文さんが就農してからの体験談やそれ以前のことなど、様々な話題で新連載のコラムが始まります。



お楽しみに!!

お知らせ

11月1日より、加熱式タバコ「アイコス」の販売を開始しました! アイコス取扱銘柄は、マルボロ・ヒートスティックシリーズの6品で、カートン(10個入り)単位の販売とします。販売開始を記念して、1カートンにつきボックスティッシュ1箱をプレゼントしますのでどうぞこの機会にご利用下さい。

詳しいお問い合わせは当JA資材課までどうぞ。

資材課直通電話番号 (0133)66-4488

取扱開始

年末年始業務のお知らせ

		12月 28日(木)	12月 29日(金)	12月 30日(土)	12月 31日(日)	1月1日(月) ~3日(水)	1月 4日(木)	1月 5日(金)	1月 6日(土)
本店	金融共済課 総務課	通常営業	通常営業 ATM17時まで	休業	休業	休業	通常営業	通常営業	休業
	営農経済部	通常営業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業
	八幡給油所	通常営業	通常営業	通常営業	8時~12時	休業	通常営業	通常営業	通常営業
花 畔	花畔支店	通常営業	通常営業	休業	休業	休業	通常営業	通常営業	休業 <small>ATMもシステム変更につき終日休業</small>
	花畔給油所	通常営業	通常営業	通常営業	7時~18時	8時~17時 ビット作業は休業	通常営業	通常営業	通常営業
とれのさと		通常営業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	通常営業

※とれのさととは12月1日~3月31日まで冬期営業のため、営業時間が10:00~15:00 定休日が毎週月曜日が変わります。(但し、月曜日が祝日の時は営業し、翌日が振替休業日となります。)

年末年始の休業期間中事故対応

◆カード・届出印・通帳の紛失◆

JAバンクキャッシュカード紛失協同受付センター
【休日24時間対応】【平日17時~翌日9時】
連絡先: 0120-944-904 (フリーダイヤル)

◆交通事故・車両トラブル等◆

事故受付: JA共済事故受付センター (365日24時間対応)
連絡先: 0120-258-931 (フリーダイヤル)

おくやみ

花畔地区 花畔農住
武田 昭一 さん
享年80歳
平成29年10月24日逝去

石狩地区 北生振
熊倉 スミ さん
享年93歳
平成29年10月26日逝去

花畔地区 花畔農住
小林 ミヨ子 さん
享年100歳
平成29年11月6日逝去

謹んでお悔やみ申し上げます。



袖月ちゃんは節目でトラクターにパパと一緒に乗って自分でハンドルも動かすそう。軽トラックのミニカーも大好き♪



藤岡 裕寿 (ゆうじ) さん 絵梨 (えり) さん



Q. 結婚したきっかけと記念日

裕寿さんが参加した市の婚活イベントで、絵梨さんの同僚が裕寿さんの人柄を見てこの人ならと、後日イベントには参加していなかった絵梨さんを紹介したのがきっかけで1年ほどでゴールイン。入籍は5月でしたが披露宴は2013年11月22日。

実は…11月20日は裕寿さんの誕生日

11月21日は絵梨さんの誕生日

11月22日は結婚式

11月23日は裕寿さんのおじいさんと絵梨さんのお母さんの誕生日と毎日お祝い続き。

それぞれの誕生日を知った時は、もうビックリ!! 不思議なご縁を感じたそう。

Q. 相手のどこが好き?

裕寿さん→家庭的なところかな。ほとんど家と子どもの事を任せているけど安心してできるので。

絵梨さん→子どもっぽい所かな? 滑り台などで子どもと一緒に本気で遊ぶ姿が微笑ましいなあって子どもが出来て新たな一面を発見しました。

Vol.2

石狩地区(高岡第2)

藤岡さん
ご家族

幸せ
いっぱい♪

素敵な
ご家族紹介

藤岡 袖月 (ゆづき) ちゃん 3歳2ヶ月



Q. 生まれる前のエピソード

おなかにいる時から空気の読める子でママの体調が辛かったりすると、いつも動いて励ましてくれていたんです。出産の時も、ここぞという時に動きを止めたので助産師さんが空気の読める子だねと褒めてくれました。(取材時もパパとママがきちんと話せるように、おとなしく遊んでくれていました。)

Q. 将来はスターだ! エピソード★

踊りが上手とよく周りから言われて、発表会でもセンターになり、とっても楽しみにしてるんです。

(発表会の一週間前が取材日でした)

地元のお祭りの時に踊りをジューッと観察していて、すぐに自己流にアレンジ(!?)しながら一緒に踊っていたので、手踊りサークルの皆さんから「後継者が出来たな(^_^)」とスカウトされて。(笑)



うりふたつ!!
どっちが袖月ちゃんでしょう?

今は天国にいる裕寿さんのお父さんが裕寿さんをだっこしている写真(左)と裕寿さんが袖月ちゃんをだっこしている写真(右)

袖月ちゃんが0歳の時に絵梨さんが思いついて、裕寿さんが子どもの頃に撮った写真と同じポーズでパチリ

それを見て裕寿さんは「あー、俺とそっくりだな。」

絵梨さんは「裕寿も、みんなも喜んでくれたので良かったなあ。」と思ったそう。

